

北九州市立児童館指定管理者検討会会議録

- 1 開催日時 平成30年10月26日(金) 14:00~16:45
- 2 場 所 北九州市役所庁舎15階 15C会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 田中構成員、齋藤構成員、大谷構成員、
角見構成員、西村構成員
(事務局) 子ども家庭局地域支援・医療担当課長、地域支援担当係長
子育て支援課担当職員

4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明。
- 構成員の互選により、座長を選出
- 検討会の位置づけ、応募状況、選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
- 応募団体より提案概要に関してヒアリング（プレゼンテーション後に質疑応答）

【応募団体：北九州市福祉事業団】

- (構成員)・児童数が減少するなかで、民間であれば経費は圧縮するものであるが、支出が年々増加しているのはなぜか。
- (応募団体)・小学校の生徒数は減少傾向であるが、児童館で実施する放課後児童クラブのニーズが高まっているため、放課後児童クラブの利用者数としては増加している。利用料収入の増加に対し、人数に応じた職員配置も必要となり、結果として経費は増加することとなるが、経費縮減には努めていく。
- (構成員)・放課後児童クラブの利用増加に応じて職員を配置するのは定めがあるのか。
- (応募団体)・国の基準で定められている。
- (構成員)・児童館で実施する放課後児童クラブの保護者負担金は均一なのか。
- (応募団体)・均一である。
- (構成員)・子育てに関わるNPOとの関わりはあるのか。
- (応募団体)・子育て支援に関連したNPOとの連携は承知していないが、例えば防災を専門とするNPO法人など、機能補完できるNPO団体との関わりはある。また、日本NPOセンターとの長い付き合いがあり、様々な団体を紹介いただいている。
- (構成員)・子ども食堂について、児童館としてどのような連携が可能か。主に市民センターで実施しているが、児童館利用者への働きかけなど可能か。
- (応募団体)・児童館利用者に対して、PRは是非させて欲しい。
- (構成員)・収入増加の工夫について何うが、現在の保護者負担金の未収金の率はどのくらいか。
- (応募団体)・未収率は0.08%であり、増やさないよう尽力している。
- (構成員)・常勤の相談員が純増されており、人件費の増加となっているが、どのような考えか。
- (応募団体)・定年のOB職員を配置することでコスト低減を図りつつ、今まで以上のサービスにつなげられる投資であると考えている。
- (構成員)・純増ではなく、他の業務などで配置された既存人材の活用はできないのか。
- (応募団体)・例えば、専門相談機関として「つばさ」があるが、相談件数も多く、児童館までの

対応は困難な状況である。気軽に相談ができる相談員を配置することで利用増につなげていきたいと考えている。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後構成員全員で意見交換

- ・利用者の意見を聞きとる仕組みはあるが、それに答えていく仕組みの構築が今後の課題と思われる。
- ・経営基盤は安定しており、すばらしいが、民間活力を十分に発揮できる柔軟性を求めたい。
- ・子どもが減少するなかで、児童館の役割は大事である。
- ・組織の大きさよって生じる硬直化を防ぐため、外部との交流や内部での活性化に尽力すると良いと思われる。
- ・緊急時の対応やeスポーツなど具体的な提案があり、今後どれだけ実現できるか期待する。

意見交換を行った後、各構成員の採点結果を取りまとめ、検討会を終了した。